

宿毛市

宿毛元気クラブ エコ幡多



『人力で巡るエコツアー』

- 活動時期 → 通年
- 活動場所 → 宿毛市・大月町・土佐清水市
- 主な活動メンバー

清家 敬太郎さん

(中心市街活性化計画の策定委員)

H1年宿毛元気クラブ結成。
ツアーの際は(ツアーの規模にもよるが)5~6名
が手伝い。エコ幡多は情報交換をするゆるやかなネ
ットワーク、メーリングリスト約80名。

■エコツアーをきっかけに地域の意識を変え、地域おこしにつなげたい。

(取り組み内容)

◆幡多半島でエコツアーを実施

高知県西部、幡多半島は足摺宇和海国立公園の一部。黒潮が運ぶ温暖な気候により、多様性に富んだ植物種、豊富な魚種、またサンゴ群集がみられる。H20年その幡多半島をカヌーで移動しながらスノーケリングで楽しむ海上のツアーと、徒歩と自転車で海岸線を眺め歩く陸のツアーを実施する。

【幡多半島でのエコツアー事例】(大月町西海岸全域実施)

①シーカヤックを使った海上のツアー(1泊2日)

宿毛湾から柏島にかけての海岸沿いのきれいな入り江に立ち寄りながら、海からしか入れない場所に上陸。その後、スノーケルをつけて海中散策。

②ウォーク&サイクルの陸上ツアー(1泊2日)

宿毛湾から初日は徒歩、次の日は自転車で柏島を目指す。スローな速度で移動するため、むかご・しゃしゃぶ・オオイタビなどが見られ、いろいろな発見があることを感じる。

☆どちらも宿毛から船でスタート地点まで移動する。

<船 = ウォータータクシー>

普段磯釣りでお客さんを運ぶ船を海上のタクシーということで利用。(磯釣り客のない時の収入にもなる)

(1船借り上げ代35,000円程)

☆橋浦で宿泊

使われていない保育園で食事、宿泊。料理は集落の方をお願いして郷土料理を提供。地元の方との交流にもなる。

☆参加者の募集

インターネット、新聞、メーリングリスト等で呼びかけ。



シーカヤックを使った海上のツアー



宿毛から船でスタート地点まで移動
(船=ウォータータクシー)

③沖の島シーカヤックツアー（日帰り）

七つある洞窟をシーカヤックで探検。

洞窟はまるで鍾乳洞のような感覚！

<<新しい試み>>

◆新エコツアーの考案

【DVDを基にしたエコツアー】

地元ケーブルテレビ「スワンTV」の撮影で、宿毛の自然を紹介したDVD「宿毛自然紀行」を制作。これを基にしたエコツアーの実施。

【三原どぶろくサイクルツアー】

三原村のどぶろく街道をサイクリングするツアー（軽い試飲可）を実施予定。

◆自転車による地域おこし

田舎になるほど車が必要で、買い物は郊外の量販店へ車で行くケースが増えている。そこで、宿毛市中心市街地の商店街を復活させて、そこですべての用がたりるように（自転車で買い物ができるように）したいとの考えから、中心市街地活性化計画を進行中。宿毛市が窓口となり、幡多全域に自転車の街を広げることにより、地域住民の意識を変えていきたい、と提案している。

【沖の島アドベンチャーラン】

昨年で7回目となった宿毛市の沖ノ島全体を舞台に、MTB、マラソン、ウォーキングで堪能するレース「沖の島アドベンチャーラン」（主催：沖の島観光協会）も自転車による地域おこしのひとつである。

【サイクルトレインの実現】

自転車の乗り入れができる車両「サイクルトレイン」を作り、エレベーターのある駅（宿毛駅、平田駅、中村駅も近々）を拠点にレンタサイクルを設けていきたい。

【自転車の拠点づくり】

道の駅を自転車の拠点とし、乗り捨てが可能な施設を併設するなど、自転車による地域おこしを考案していきたい。



自然散策（大月町白浜）



サイクルツアー（宿毛市沖の島）



（代表：清家さん）

■取り組みに対する想い

エコツアーをきっかけに、地域の方の意識を変えていきたい。自分の住んでいる地域を知り、再認識していきかけづくりをしたい。それは結果としてCO2の削減にもつながる。

「大手の旅行会社にできないこと」→「地域の方の協力を得ながら安くつくること」

今後、農家民泊を見習い、漁家レストランなど増やしていきたい。ただし「エコツアー」にならないように…。

（平成21年8月現在）